

## 嬉野医療センターを受診された患者さまへ

## 研究情報公開について

通常、臨床研究を実施する際には、文章もしくは口頭で説明・同意を行い実施します。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いた研究については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要です。

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用、または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	National Early Warning Score (NEWS) 導入から見えてきた現状と課題
研究責任者 (所属名)	河上 ひとみ (看護部 集中ケア認定看護師)
本研究の目的	当院では、2011年12月よりRapid Response System(以下、RRS)を導入し、導入後は院内心停止の減少など一定の効果は得られたが、Medical Emergency Team(以下、MET)が起動されない症例があるなどの課題がありました。そこで、さらなるRRSの効果を得るためにCritical Care Outreach Team(以下、CCOT)を2019年9月30日より導入し、診療看護師を中心に、平日の日中に急変のリスクが高いとされているNational Early Warning Score (以下、NEWS)の高得点者を対象にラウンドを開始しました。CCOT導入約半年で193件のラウンドを実施し、MET介入へつなげたり、病棟看護師から「相談できる機会ができて、よかった」などの前向きな意見がある一方で、ラウンド対象に該当しなかった患者が急変し死亡した症例や予定外ICU入室となっている症例が存在します。そこで、急変患者においてNEWSでは抽出できない症例の特徴を明らかにし、今後のRRSの活動につなげていきたいと考えています。
用語の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・RRS：患者に対する有害事象を軽減することを目的とし、迅速な対応を要するバイタルサインの重大な増悪を含む急激な病態変化を覚知して対応するシステム</li> <li>・MET：医師 1 名以上を含み、気管内挿管などの二次救命処置をベッドサイドで開始できる能力を備えたチーム</li> <li>・CCOT：集中ケアの訓練を受けた看護師らが主体となって、ICU 退室患者と何らかの懸念のある入院患者を定期的に訪床して回り、起動基準に抵触する患者を早期発見することを目指した対応チーム</li> <li>・NEWS：複数のバイタルサインの評価項目を点数化して重症度を分類し、患者の状態の急変を早期に発見し、重症化や心停止を未然に防ぐためのツールのひとつであり、急変の検出率に優れた英国の標準スコア</li> </ul>
調査データの該当期間	令和 2 年 9 月から令和 3 年 9 月まで

研究の方法 (使用する試料等)	CCOT導入後の院内急変・死亡患者症例における診療録 (調査項目：性別、年齢、入院診療科などの基本情報、処置内容、手術の有無、コードステータス、4時間以内のバイタルサイン、NEWS、転帰)
個人情報の取り扱い	利用する情報から、氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除した状態で取り扱われます。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：0954-43-1120 (代表) 担当者：管理課 課長 相島 成人
備考	